

Lieber Freund

NPO鳴門「第九」を歌う会だより

“友よ”

リーバー フロイント

vol.6

発行：NPO鳴門「第九」を歌う会事務局
TEL 088-686-1296 FAX 088-686-7690 (浅野)
E-mail: naruto_daiku@yahoo.co.jp

2006年6月4日発行

4日連続の第九演奏会のトリを飾る鳴門の第九。
四半世紀続いた歴史と、初演の地の誇りを胸に
いよいよ開演です



徳島交響楽団では平成16年に
東京交響楽団の指揮者を経て、演奏技術や合奏
のスキルアップを目指し、東京交響楽団から指導
を受けました。音色や息づかい、フレーズの
入り方などプロの演奏から、くさんの刺激を受け
たとか。徳島交響楽団の今年の「音」にも
ご注目ください。

ごあいさつ

風薫る新緑の6月、今年も初演の地に歓喜の歌声が響く季節となりました。熱心に半年間の練習に取り組まれたNPO鳴門「第九」を歌う会会員の皆様は、飯森先生のタクトにのって今年はどうな感動を味わうことが出来るのでしょうか。全国からご参加の第九仲間と喜びを共にし、友情を深めてください。

また本年は、鳴門ロケがふんだんに取り入れられた映画『バルトの楽園』が間もなく全国で上映されます。クライマックスにカラヤン指揮の「第九」が鳴り響く歓喜の大ロードショーをお楽しみください。

90年前に日本の片田舎「板東」の地を舞台に繰り広げられた人間愛と、国境を越えた友情に満ち溢れる歴史的な真実にふれていただけることと存じます。

本年もNPO鳴門「第九」を歌う会が、地域文化の核となって、ますます活躍されることを願っています。

(全日本「第九を歌う会」連合会会長 亀井俊明)

映画のロケをはじめ、なにかと話題の多かった今年度。鳴門に全国的な注目の集まる中、いよいよ本番が近付いてきました。2007年秋に徳島で開かれる国民文化祭のイベントとして、今年度は阿南市、三好市、徳島市でも第九合唱団が結成されました。6月1日から4日連続の第九演奏会。そのトリを飾るのが鳴門の第九です。

4月15日には指揮者の飯森範親さんによる合唱指導、5月7日にはオケも入って指導が行われました。日本はもちろん世界のオケから引っぱりだこの飯森さんは、ジーンズ姿で颯爽と現れ、強弱や子音の立て方などを熱心に指導。若々しくテンポのいいレッスンにすっかり惹き込まれました。言葉の語尾の処理や、高音の音程、フレーズのおさめ方などまだまだ課題は多いですが、本番までの練習の1回1回を大切に、トリにふさわしい大合唱を響かせたいものです。

バルトでナルトは大騒ぎ

活動の記録



ドイツ楽団の演奏の様子

映画『バルトの楽園』の撮影は、鳴門市大麻町に建てられたロケ村、東映の撮影所、松江所長の故郷・会津などで行われました。徳島でのロケは1ヶ月にも及び、大勢のドイツ人エキストラ、地元エキストラ、はては地元の犬まで出演。クライマックスの「第九」演奏会のシーンには、姉妹都市ドイツ・リューネブルク市立劇場のオケや合唱団の協力も得ることになり、第1回里帰り公演、そして鳴門の第21回演奏会でもタクトを振ってくれた懐かしいトイスさんや楽団が12月に来日。

12月13日、鳴門文化会館で行われた記念イベントでは、人なつこい笑顔と的確な棒で私達を引っ張ってくれました。この

日は、昼間にNHKラジオ「こんにちは! 80 (ハチマル) ちゃんです」の中継もあり、私達はハシゴ出演。

夜は主演の松平健さんや、地元出身の板東英二さんらのトークショーもあり、おおいに盛り上がったのでした。



Mattiasを探せ!



鳴門市の国際交流員、マティアス・ヒルシュフェルドさんは、私達の合唱仲間。高校生の頃から学校や地域の合唱団で、ルネサンス物、古典～ゴスペル…と、幅広いジャンルの合唱に取り組んでいたそうです。プロのオペラ合唱団にエキストラとして参加した

こともあるとか。昨年の第九演奏会ではバスパートで参加。ところが今年はおケの名簿に名前が載っているではありませんか!? 実は6歳～高校卒業まで市立音楽学校でヴァイオリンも習っていたんだそうです。すごい! え?! マティアスさん、映画『バルトの楽園』にも出演してるんですか? 皆さん、劇場のスクリーンで探してみてください。

ともかくにも“バルト”にわた平成17年度。ロケ隊の吹き出しに、PRイベントに、はたまたエキストラ出演…と会員の皆さんも大忙しでした。

- ◆バルトの楽園PRトークショーで「第九」
10/29 於：アスティとくしま

- ◆松江豊寿顕彰碑除幕式 11/3
松江大佐の宿舎があったという徳島市藍場浜の郷土文化会館横に顕彰碑が建立され、お孫さん3人を招いて除幕式が行われました。コーラス9が式典に参加し、「第九」「荒城の月」、ドイツ民謡などを歌って華を添えました。



- ◆そごう「ドイツのクリスマスフェア」
11/29 於：徳島そごう

日本におけるドイツ年と映画ロケをもりあげようとそごうでドイツフェア開催。オープニングに「第九」他を披露。

- ◆ドイツ楽団との交流会
12/19 於：鳴門市地場産業振興センター
この日、ドイツ隊のロケが終了。日独入りまじって「第九」を合唱しました。

- ◆NHKの中継でロケ村から「第九」 12/28



インタビューを受けたもの。鳴門の受け答えも手には年末の第九はかえつて!

- ◆ロケ村オープン記念イベント 2006. 3/21

野外の特設ステージで「第九」。トークショー、餅投げも行われました。



- ◆中四国民放7局リレー
によるレインボーネット生中継に出演

2006. 4/29 ロケ村の酒保(ピアホール)のセットの中で「第九」を歌いました。

「第九」オフシーズンの6～12月が、クラス9のオンシーズン。地域イベントに出演しながら、年に一度の演奏会を目標に、常任指導者：大井美弥子さんのもと、練習に励んでいます。今年度は2006年2月19日、鳴門市ドイツ館で「シューベルト・コンサート」を開催。指揮：山田啓明さん、ソプラノ：佐川理恵子さん、アルト：小川明子さん、テノール：頃安利秀さん、ピアノ：向井真紀子さんのお力添えを得て、シューベルトの「ミサ第2番ト長調 作品167」を演奏しました。第1部では、先生方の独唱で「魔王」「糸を紡ぐグレートヒェン」などのリートの数々、そして森正さんによるピアノ独奏「4つの即興曲作品90」なども演奏していただきました。

今回も会場は満席。アンコールを浴びながら、力を出し切って歌えた達成感に胸がいっぱいになったのでした。



コーラス9 第2回演奏会「シューベルト・コンサート」2006.2.19

その他の出演

- ◆ ドイチェス・フェスト 10/30 於：鳴門市ドイツ館
曲目：「wie schön ist es」他
- ◆ 鳴門市芸能祭 11/20 於：鳴門市文化会館
曲目：シューベルト「ミサ第2番ト長調作品167」より
Credo, Sanctus
- ◆ 「子供の街」式典 12/18 於：鳴門市文化会館
- ◆ 福祉施設「ありの実」オープン式典 2006.3/27

県内研修

- ◆ 平成17年度総会&第1回研修会
8/28 於：鳴門市ドイツ館
徳島交響楽団で活躍されている生駒元さん主宰「KOMA Ensemble」によるコンサート。出演は生駒智子さん(Vn)、生駒元さん(Vc)、生駒純江さん(P)、篠原暁子さん(P)。家族ならではの絶妙の呼吸で、「ニュー・シネマ・パラダイス」「見上げてごらん夜の星を」などを演奏してくれました。

- ◆ 第2回研修会 12/23 於：鳴門市ドイツ館
県内外で活躍中のソプラノ：富岡久乃さん、ピアノ：栗田美佐さんによるクリスマスコンサート。R.シュトラウスの珠玉のドイツリートや日本歌曲、オペラアリアなど10曲を歌唱。栗田さんによる楽曲解説も好評でした。また、大井美弥子さんの指導でクリスマスソングを合唱。1年をふり振り返りながら会食をしたりと、楽しいひとときを過ごしました。



県外研修

- ◆ 瀬戸&上海国際ジョイントコンサート
7/23～25 於：愛知県瀬戸市 36名参加
- ◆ 愛知万博EXPOドーム演奏会
9/12～14 於：愛知県 59名参加



「愛・地球の環音楽祭」と題し、千住真理子(Vn)、五木ひろしら豪華ゲストの演奏に続き、700名で第九。大合唱がドームに響きわたった感動の舞台でした。万博会場やオープンしたばかりの中部国際空港も見学しました。

- ◆ 1万人の第九
12/4 於：大阪城ホール 31名参加



万博でも阿波女のパーフォーマンス? ちなみにマンモスと一緒に載っているのは、清水さん、柳本さん、坂東さんです(左から)

Naruto Nostalgia

第九ゆかりの地を訪ねて



第3回「BANDOロケ村～歓喜の郷」

板東俘虜収容所を舞台に、国境を越えた友情と人間愛を描く東映映画『ハルトの楽園』。ロケにあたって、実際の収容所跡にほど近い山あい、約1万㎡の巨大セットが作られました。ドイツ兵が暮らした兵舎、ビールを酌み交わした酒保、風呂場などがリアルに再現されており、収容所でのドイツ兵たちの暮らしが目にうかぶようです。ロケも終わり、現在、2年間の期限付きで観光施設として公開中。映画の名場面の写真パネル、撮影に使われた衣装や小道具も展示されています。映画鑑賞の前に見学しますか？それとも…。



ここでパン教室が行われたのかな？



(写真上)ドイツ兵が暮らした兵舎。スケッチや読書など自由な活動を楽しんでいた様子がわかる(写真下)松江大佐が勤務した所長室



民家もリアルに再現

DATA

住所／鳴門市大麻町板東字広塚25-1 ☎088-689-4420

料金／無料(施設維持協力金1人500円)

開館／9:30～17:00(入館は～16:30)

休み／無休

交通／JR鳴門駅から鳴門市営バス大麻線で25分、霊山寺前下車、徒歩12分

駐車場／大麻比古神社駐車場100台(ロケ村へ徒歩8分)



感謝状贈呈

全日本「第九を歌う会」連合会、並びにNPO法人鳴門「第九」を歌う会から、今年で鳴門の第九に10回以上参加されることになる以下の団体・個人に感謝状を贈呈させていただきます。

全日本「第九を歌う会」連合会加盟団体(1団体)

●淡路第九をうたう会

長年、第九演奏会にご参加いただいた方(3名)

●磯部勢津子 ●戸田 洋子 ●佐藤 孝彦

(順不同、敬称略)

事務局だより

♪準備万端！ご協力ありがとうございました

今年も、毎回の練習の受付に始まり、募金や一筆箋のラッピング、交流会の準備にと、一人一役のボランティア、本当にありがとうございました。年を重ねるごとに、皆さんがもてなしのエキスパートに近付いている気がします。素晴らしい演奏会にするために、演奏はもちろんのこと、心をこめて全国の皆さんやお客様をおもてなししましょう。

♪託児サービスも好評でした

子育て中のお母さん達

に安心して練習に参加してもらおうと、会員からの意見をもとに今年度から託児サービスを導入しました。若い世代の参加を促す素晴らしいアイデアでした。第九を末永く、より発展させていくため、ご意見をお待ちしています。



♪市制60年記念演奏会のアイデア募集

2007年は鳴門市の市制60周年にあたります。第九演奏会も記念企画を盛りだくさんに行いたいと、事務局ではあれこれ企画を練っている最中です。これは！という企画をお持ちの方はぜひ事務局までご一報ください。

一緒に歌いませんか？ **Chorus9**

全世界がモーツァルト生誕年に沸く中、敢えて(?) シューベルトに挑んだ第2回演奏会でしたが、やっぱり…ねえ…。ということで、モーツァルト生誕250年の2006年内に「モーツァルト・コンサート」を開催することになりました(11月26日予定)。一昨年演奏した「戴冠ミサ」の再演と、新曲にも取り組みたいと思います。一昨年よりレベルアップした「戴冠ミサ」を披露できるよう、頑張りましょう！皆様のご参加、お待ちしております。

参加申込みは事務局(浅野) ☎088-686-1296まで。



●サッカー・ワールドカップドイツ大会ももうすぐ開幕！日本とドイツにエールを込めて、響け第九の歌声よ！

●今年の「第九」は、鳴門の前にも県内3カ所で演奏が行われます。各地で第九参加の皆さんと、いつか一緒に歌いたいなあ…！

●最後までお読みいただき、ありがとうございました。次号は冬に発行予定です。

(広報委員一同 撮影/濱田佳代子)